

2013.07.31

「マスコミの書かない参議院の独自性」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は7月31日です。昨日30日に自民党の参議院の会長、幹事長が選挙で決まりました。会長には溝手顕正先生、幹事長には脇雅史先生が選出されました。これから自民党の参議院の執行部として党を引っ張っていかねばなりません。報道などをみていると、参議院は時の首相ですら口を出せない聖域であり、その裏には各業界団体の影がちらついていると報道されていました。これは知ったかぶりの報道であり、実際はそうではないのです。確かに参議院の比例代表には業界団体の方もおられます。しかし問題はそのような話ではなく、我々参議院の人間は衆議院のように、その時その時の瞬間的な世論に左右されずに、私自身も6年の任期を頂きましたし、それぞれ長い任期をもって国民の代表になっているのであり、瞬間瞬間の風にのるのではなく、長期的に国家にとって重要であるかの是非をもって考えるというのが、参議院には伝統的にあります。従いまして、例えば衆議院が世論調査で支持が高い「改革」を提出してきても、長期的にみればおかしいということで、かつての小選挙区制のように参議院では否決をされました。しかし、その後、衆議院で河野総裁と細川総理との会談で認めるということになってしまいました。また「郵政改革」も参議院では否決をされました。しかし、否決をしたにもかかわらず、小泉総理の解散というとんでもない手段によ

って、民意だという形で参議院の決議が押し込まれてしまいました。しかし、両法案ともあとで考えてみると、衆議院・参議院どちらの意見のほう为正しかったかといえ、言うまでもなく参議院側の判断が正しかったのです。それが業界の要望がどうこうとの問題ではないはずです。それなのに、マスコミはこのような書くのです。ですからマスコミが国民の政治に対する正しい判断を誤らせているのです。それがために、私はこのようなビデオレターでマスコミの報道に対して牽制を行っているわけです。いずれに致しましても今回、会長、幹事長が決まりました。これは決して業界団体からの要望などということではなく、参議院の長期的な国家のありかたの姿勢を示せるというわけです。特に、脇幹事長は、国対委員長時代に、私も国対副委員長として仕えさせて頂きましたが、参議院が自民党政権奪還の立役者となったと言われていますが、その一番の功労者は脇先生ではないかと思っています。非常に理路整然と民主党の追求を行い、追求の方法も国会運営も、徹底的に戦う姿勢を示して、これを谷垣総裁や参議院全体の意見としてリードしてきたのは周知の事実であります。これから参議院の幹事長として辣腕をふるって頂きたいです。また、溝手会長も脇先生が国対委員長時代に、幹事長として共に働いてきた仲でありますので、是非このコンビで自民党参議院を正しい方向に導いて頂きたいです。特に、今回で衆参のねじれが解消され、我々の政策の失敗は許されません。

そのような状況で、昨日、自民党税調の正副幹事会が行われました。これはこ

れから、税制改革論議が行われるのですが、それに先立ち、幹部の中で方向性に対して大きな議論、いわゆる第三の矢の成長戦略についての意見がだされ、それに対する税制の要望が出されました。そして、私はこの議論を聞いていて、ほとんど意味がないのではと思いました。なぜならば、すでに自民党税調は政権復帰してから投資減税や雇用促進の為の減税などを行ってきたのです。従いまして、今後は投資減税を行うばかりではいけません。もちろん企業にとって減税は喜ばれますが、問題は企業が大きくなり喜ぶということではなくて、いかにして国内の雇用・投資を増やすのかということです。その為の税制でなくてははいけませんし、制度でなくてははいけません。ところが我々が経産省などから聞いた意見によりますと、そのように考えられないのです。また、産業競争力会議のメンバーに聞いてみても、規制改革・緩和やゾンビ企業には退場してもらおうんだということを主張しています。これは 20 年間、構造改革路線として行ってきたことなのです。その結果なにがおこってきたのかというと、国内から投資が海外へと移転し、税金も海外に払っています。そして、雇用も少なくなって、結局はデフレを作っていくという悪循環を生み出したという指摘をし、経産省の中でこのことがしっかりと整理されているのかについて指摘をしました。今後、我々がしっかりと政治を主導していき、役員の意見のみならず、またいわゆる学者の意見のみならず、政治家がしっかりと現場をみてしっかりと現状を見極めた上での政策を提言していかなければならない

と考えています。何れに致しましても、お盆が明けましたら、さっそく税制の議論もされてきます。私もしっかりと頑張っていきたいと思います。なにはともあれ、政権復帰をし、ねじれを解消し、これからが正念場ですので、頑張っていきたいと思います。本日もご視聴ありがとうございました。